Imagica Robot Holdings Inc.

NEWS RELEASE

各　位

平成 25 年 12 月 2 日

会　　社　　名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代表者の役職氏名　代 表 取 締 役 社 長　長 瀬 朋 彦
（コード番号：６８７９　東証第二部）
問 合 わ せ 先　取締役常務執行役員 経営企画本部担当　角 田 光 敏
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０３－６７４１－５７５０

ROBOTが贈る新作アニメーション「ゴールデンタイム」を劇場初公開！

～東京都写真美術館ホールにて 2014 年 1 月 11 日（土）より公開～

当社子会社の株式会社株式会社ロボットは、2014年1月11日（土）～26日（日）までの16日間、東京都写真美術館ホールにて、オリジナルの短編アニメーション「ゴールデンタイム」を劇場公開しますので、お知らせいたします。

ロボットが誇るアニメーション作家集団CAGEの稲葉卓也が、監督・脚本・キャラクターデザイン・アニメーション等をすべて担当した本作「ゴールデンタイム」は、2013年7月にソウル国際カートゥーン＆アニメーション映画祭で「観客賞」、「アジアの光賞」の2冠受賞を皮切りに、数々の国際映画祭にも多数ノミネートされるなど、海外でも高い評価を受けています。

今回は「手仕事のアニメーション」と題し、2009年に第81回米国アカデミー賞短編アニメーション賞を受賞した「つみきのいえ」と、株式会社白組が制作する「タップ君」（劇場未公開作品）の、オリジナル短編アニメーション全3作品をまとめて上映いたします。

（添付資料　全 5 枚）

株式会社ロボット　ニュースリリース

『「つみきのいえ」に続き、オスカー®受賞スタジオ ROBOT が贈る新作アニメーションを劇場初公開！
稲葉卓也 監督作品「ゴールデンタイム」 東京都写真美術館ホールにて 2014 年 1 月 11 日（土）より公開』

以上



ニュースリリース　　2013.11.28

『つみきのいえ』に続き、オスカー®受賞スタジオ ROBOT が贈る新作アニメーションを劇場初公開！

稲葉卓也 監督作品「ゴールデンタイム」

東京都写真美術館ホールにて 2014 年 1 月 11 日（土）より公開



株式会社ロボット（本社：東京都渋谷区 社長：加太孝明、以下「ロボット」）は、自社に所属するアニメーション作家・稲葉卓也を起用した、オリジナルのアニメーション『ゴールデンタイム』を 2014 年 1 月 11 日（土）より劇場公開します。

ロボットは、CM、映画、番組などあらゆるジャンルの映像作品を多数制作する傍ら、常に上質のオリジナル短編アニメーションの制作にも力を注いできました。2009 年に第 81 回米国アカデミー賞短編アニメーション賞を受賞した『つみきのいえ』に続き、新たに制作した本作『ゴールデンタイム』は、2013 年 7 月にソウル国際カートゥーン＆アニメーション映画祭「観客賞」「アジアの光賞」の 2 冠受賞を皮切りに、数々の国際映画祭にも多数ノミネートされるなど、海外でも高い評価を受けています。

監督・脚本・キャラクターデザイン・アニメーション等のすべてを担当したのはロボットが誇るアニメーション作家集団 CAGE の稲葉卓也。本当にあったかもしれない廃品たちの物語を独自のセンスでユーモアたっぷりに描き、どこか懐かしくも切ないエンターテインメントムービーを完成させました。

劇場公開は 2014 年 1 月 11 日（土）より 1 月 26 日（日）までの 16 日間。東京都写真美術館ホールにて「手仕事のアニメーション」と題し、『ゴールデンタイム』『つみきのいえ』、そして株式会社白組が制作するオリジナル短編アニメーション『タップ君』（劇場未公開作品）の 3 作品をまとめて上映いたします。

作品紹介

『ゴールデンタイム』

テレビがたどった数奇な運命を描いた悲喜劇

舞台は高度成長期からバブル期に向かって日本がめまぐるしい発展を遂げていた 1980 年代の日本。ある日、長年使われてきた 60 年代製の家具調テレビが廃品置き場に捨てられてしまう。テレビは捨てられたことを受け入れられず廃品置き場から脱出を試みるのだが…。　　作品公式サイト http://www.robot.co.jp/goldentime/



スタッフ・クレジット

監督・脚本・アニメーション・キャラクターデザイン：稲葉卓也

音楽：烏田晴奈

SE：小林範雄・徳永義明（ONPa ）

アニメーション協力：オープロダクション

タイトルロゴデザイン：小川雅志

プロデューサー：松本絵美

制作：大嶋美穂

企画／製作：ROBOT

助成：日本芸術文化振興会

監督プロフィール

稲葉卓也（いなば・たくや）

１９７６年生まれ。京都精華大学卒業後、２００２年より株式会社ロボットに所属。NHK BSのキャラクター「ななみちゃん」のキャラクターデザイン及びアニメーションをはじめとして独自のキャラクターセンスには定評があり、テレビ番組、CM、プロモーションビデオ、絵本など、大人から子供まで楽しめるエンターテイメント作品を多く手がけている。2010年オリジナルアニメーション「KURO」を発表

上映情報

手仕事のアニメーション

2014 年 1 月 11 日（土） - 26 日（日）

東京都写真美術館ホール



数々の映像作品を常に作り続けているプロダクション
「ROBOT」と「白組」それぞれが心を込めて贈る
オリジナル短編アニメーションの最新作を劇場初公開！

上映作品：

・ゴールデンタイム（稲葉卓也監督・22 分 50 秒・2013 年作品）

・タップ君（アンマサコ監督・23 分・2013 年作品）

・つみきのいえ（加藤久仁生監督・12 分・2008 年作品）

上映時間：

・１１日（土）、１８日（土）　１２：２０／１３：５０／１５：２０／１６：５０／１８：１０／１９：３０

・１２日（日）　１２：２０／１３：５０（イベント付上映）／１６：５０／１８：１０／１９：３０

・平日、１３日（月・祝）　１２：２０／１３：５０／１５：２０／１６：５０

・１９日（日）　１２：２０／１３：５０（イベント付上映）／１６：５０

＊休館日１月４日（火）・１月２０日（月）

料金：

一般 1,200 円／学生・シニア・障害者手帳をお持ちの方 1,000 円／中学生以下 600 円／※未就学児童は無料。

入場各回定員入替制／自由席

当日 12：00 より各回のチケット販売を開始いたします

監督によるトークイベント：

１月１２日（日）　１３：５０の回上映後、稲葉卓也監督とアンマサコ監督のトークイベント開催

１月１９日（日）　１３：５０の回上映後、稲葉卓也監督の作品集上映及びトークイベント開催

上映会に関するお問い合わせ：

東京都写真美術館　TEL:０３-３２８０-００９９

同時上映作品

「タップ君」

日本屈指の VFX 技術を誇る白組制作のコマ撮りアニメーション初公開

何も話さず、あなたの人生に寄り添う靴の物語





STORY

第二次世界大戦前後のヨーロッパのある街。靴職人のスミスの店にはいつもボロボロになった様々な靴が持ち込まれる。そんなある日一人のタップダンサーが靴の修理の依頼にやってくる。人間の生活を支えるために働いて来た靴たちが集うとき、それぞれに秘めていた物語を語りはじめる…。（2013 年／23 分／カラー）

監督・人形制作・美術デザイン：アンマサコ

コマ撮りアニメーター：岡田シゲル　美術・金属球体間接制作：月岡英生

音楽：ジム・オルーク サウンドデザイン：石垣哲

企画・脚本・プロデューサー：島村達雄　製作：白組

「つみきのいえ」

第８１回米国アカデミー賞短編アニメーション賞受賞作品

水没した土地で暮らす老人は、水かさが増すたびに家を高く積み上げながら一人で住んでいた。

そんなある日のこと、大事な落とし物を探しに海に潜ることに…



監督・アニメーション：加藤久仁生

脚本：平田研也

プロデューサー：日下部雅謹、秦祐子

音楽：近藤研二　製作：ROBOT

（2008 年／12 分／カラー）

◆本ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社ロボット　管理本部（広報担当）　中上川 康二　　TEL :03-3760-1064　　press@robot.co.jp